

群馬大学理工学府附属元素科学国際教育研究センター

カーボン壁面空間の創成と 応用のサイエンスに関するシンポジウム

日時

2018年3月7日(水) 13:00~17:30
8日(木) 9:00~11:30

会場

群馬大学理工学府
総合研究棟5階501号室
〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1
TEL : 0277-30-1111

対象

一般、大学院生、学部生、教職員

主催

群馬大学理工学府
附属元素科学国際教育研究センター
【お問い合わせ】群馬大学理工学部庶務係 赤羽
TEL : 0277-30-1035 E-mail : a.akaba@gunma-u.ac.jp

共催

日本学術振興会第117委員会(炭素材料)、
炭素材料学会

壁面空間とは聞き慣れない言葉であると思います。これは、ナノメートルオーダーの空間を作る壁とその近傍空間を一体で機能空間ととらえる（これを壁面空間と呼ぶ）新しい認識の仕方を提示する言葉です。多孔質材料の代表例である活性炭や層状化合物の代表例であるグラファイトは、エネルギー、環境、物質合成、生体などの各分野で用いられています。そこでは、細孔径、容積、比表面積、面間隔といった、主に空間側からの特徴で材料としての特性や機能が語られてきました。

学振第117委員会および炭素材料学会からなるワーキンググループでは、カーボンを主成分とし空間を構成する壁とその近傍空間を一体ととらえ、さらに壁の特性を踏まえた空間を壁面空間と呼ぶことを提唱し、それらの創製の方法と実材料としての応用について議論を重ねてきました。しかしながら、壁面空間の描像はまだ確立したとは言えません。

そこで、本シンポジウムでは、壁面空間を提唱しているワーキンググループメンバーに各自の壁面空間に関わるサイエンスについて語っていただくとともに、新しいアプローチで表面や細孔空間を研究している研究者にもご講演いただくことで、壁面空間の認識、定義を深めることを目指しております。

また、特別招待講演として、日本学術振興会 監事の千葉大名誉教授 西川恵子先生をお招きし、先生のカーボン微細構造に関する研究および外部資金取得に関するお話もいただきます。

お気軽にお出でいただき、新しい材料の概念である壁面空間について認識を深めていただければ幸いです。多数のご聴講をお待ちしております。

招待講演発表題目（発表者）

CVD法による無機ナノ材料表面への炭素被覆とその応用

（干川 康人先生 東北大学）

計算化学と分光分析による炭素材料の構造解析

（山田 泰弘先生 千葉大学）

分離科学に用いる材料探索

（森 勝伸先生 高知大学）

Covalent immobilization of gold nano-cluster on functionalized graphene

（MD. ZAKIR HOSSAIN先生 群馬大学）

多孔質炭素細孔内部へのレドックス化合物の高分散化による急速電荷移動の実現

（糸井 弘行先生 愛知工業大学）

炭素材料との関わり

－研究者として、そして、学振役員として－

特別招待講演（西川 恵子先生 日本学術振興会監事、千葉大学名誉教授・特任教授）

会場アクセス

